

**Gender Equal Society**

平成 14年度

**八戸市民の  
男女共同参画  
に関する意識調査**

結果報告書

平成 15年 3月  
青森県八戸市

**HACHINOHE 2002**

## 1 調査の目的と概要

### 調査の目的

八戸市は、性別にとらわれず、一人ひとりが個人として尊重される男女共同参画社会の実現を目指しています。この度、市民の皆さんのお考えやご意見を伺い、事業の参考にさせていただき、アンケート調査を実施することといたしました。

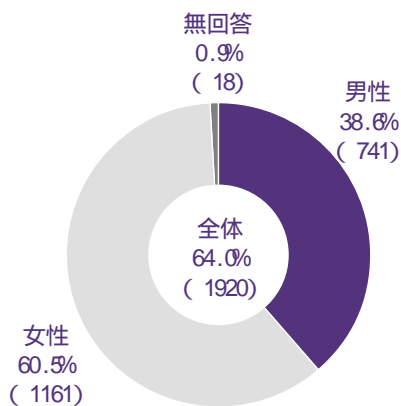
ここではその調査結果の一部を紹介いたします。

### 調査の概要

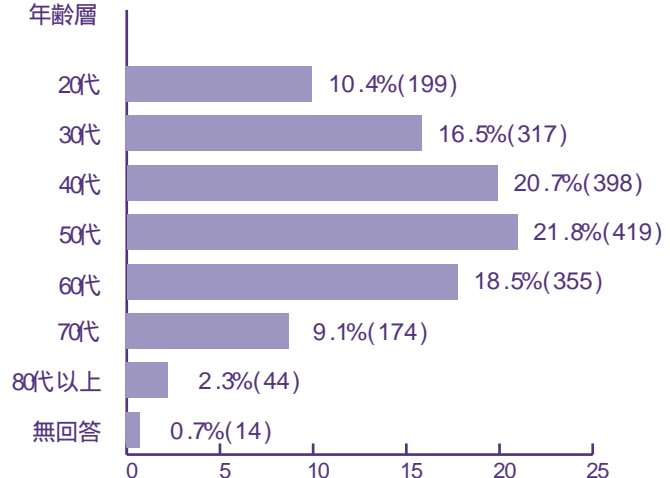
調査範囲	八戸市全域
調査対象者	無作為に抽出した満 20歳以上の市民 3,000人
調査方法	訪問配布、郵送回収
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 男女平等意識について</li> <li>2 働くことについて</li> <li>3 家庭でのことについて</li> <li>4 学校教育について</li> <li>5 地域活動への参加について</li> <li>6 政策決定家庭への参画について</li> <li>7 少子化について</li> <li>8 国の制度改正について</li> <li>9 異性に対する暴力等について</li> <li>10 市が進めるべき施策について</li> </ol>
調査期間	平成 14年 10月 1日 ~ 平成 15年 3月 25日
有効回収数及び回収率	1,920人 ( 64.0% )

### 回答者の内訳

#### 性別比



#### 年齢層



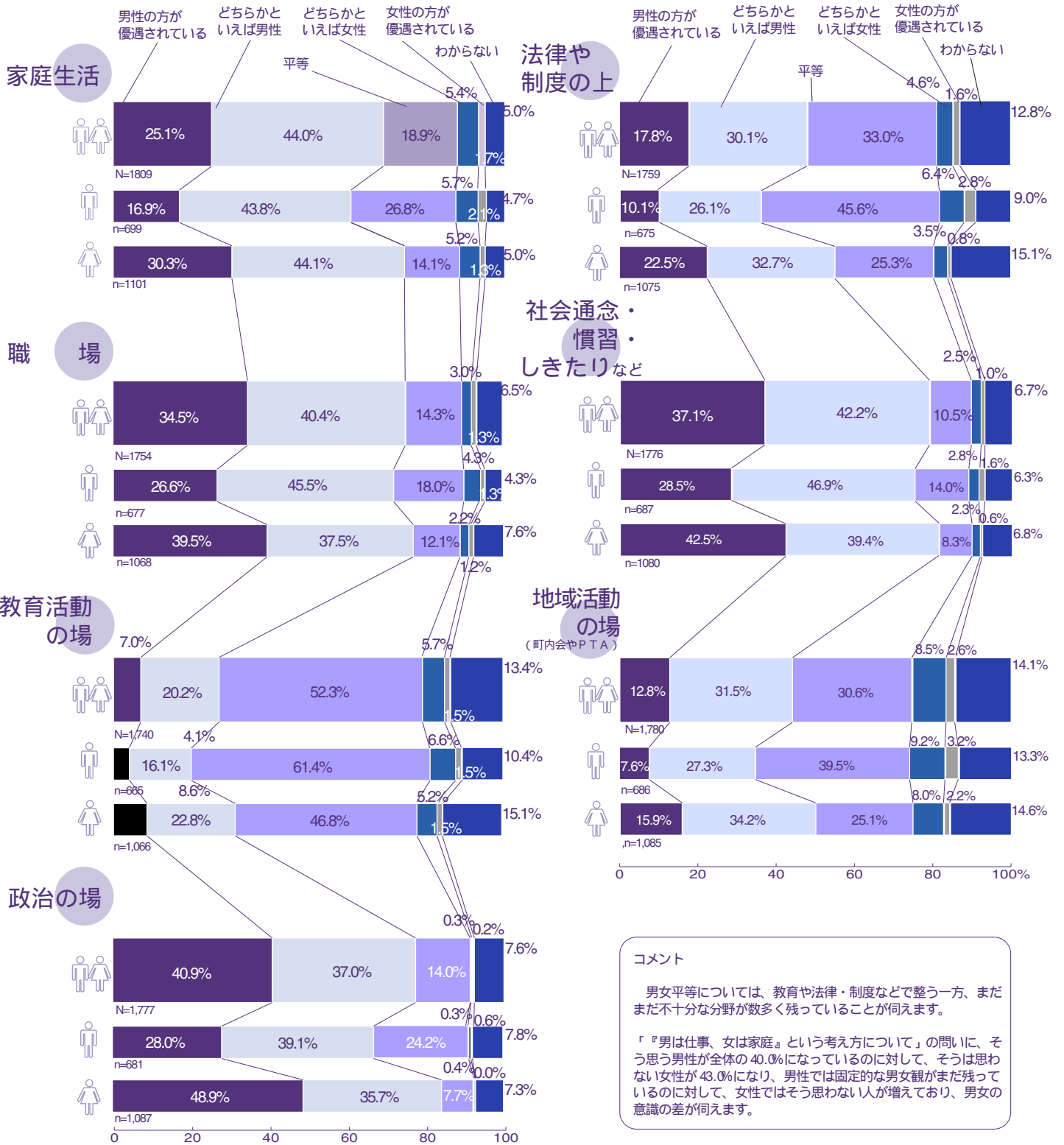
#### この概要版を読む上での注意

- 1 調査結果はすべてパーセントで表しています。回答者数はNまたはnで示しています。
- 2 数値は少数点以下第2位で四捨五入していますので、合計しても100%にならない場合があります。
- 3 性別が無回答でも回答として合計値には算入していますので、性別の回答者数の合計と回答者数とが合わない場合があります。
- 4 複数回答の場合には、合計が100%を超える場合があります。

2 結果と分析

男女平等意識について

あなたは次の分野で男女は一般的に平等になっていると思いますか。



コメント

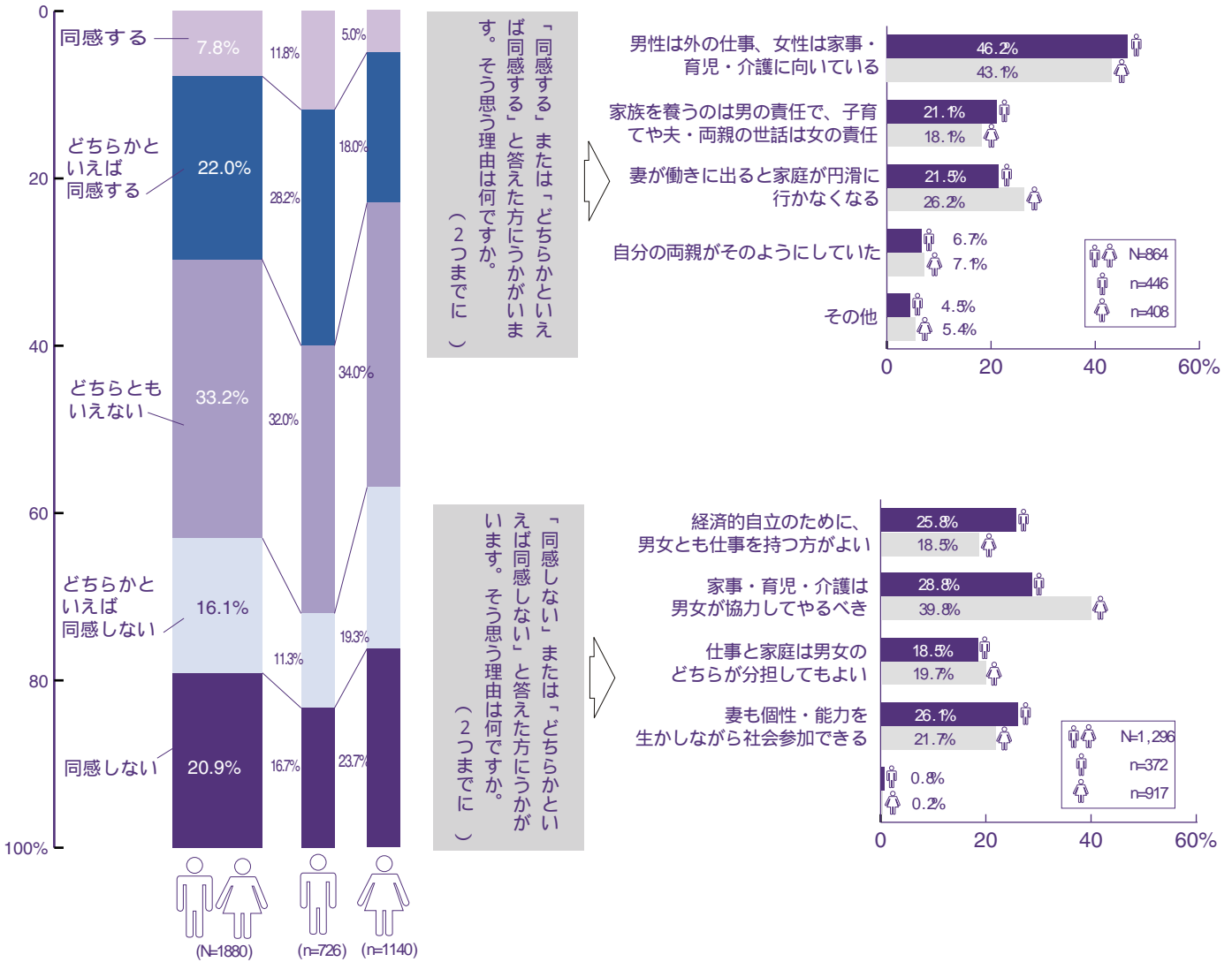
男女平等については、教育や法律・制度などで整う一方、まだまだ不十分な分野が数多く残っていることが伺えます。

「『男は仕事、女は家庭』という考え方について」の問いに、そう思う男性が全体の40.0%になっているのに対して、そうは思わない女性が43.0%になり、男性では固定的な男女観がまだ残っているのに対して、女性ではそう思わない人が増えており、男女の意識の差が伺えます。

2 結果と分析

男女平等意識について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。



コメント

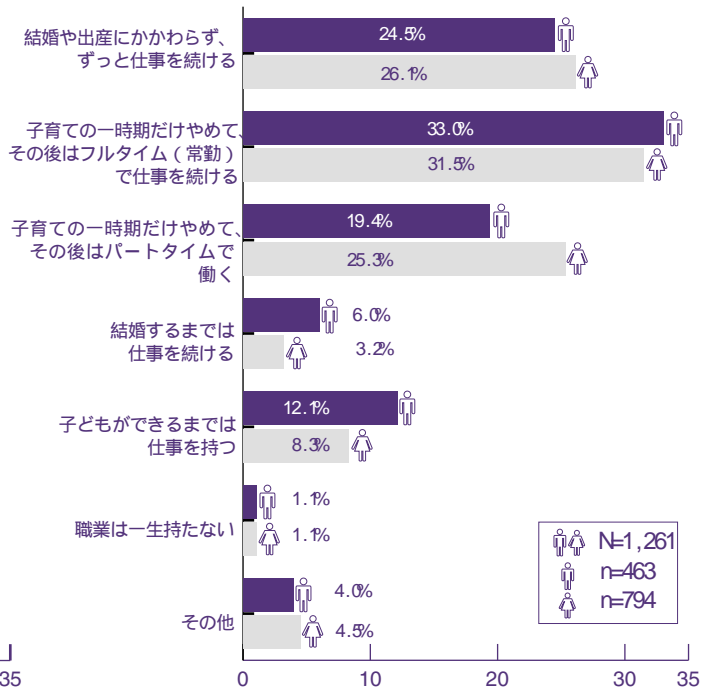
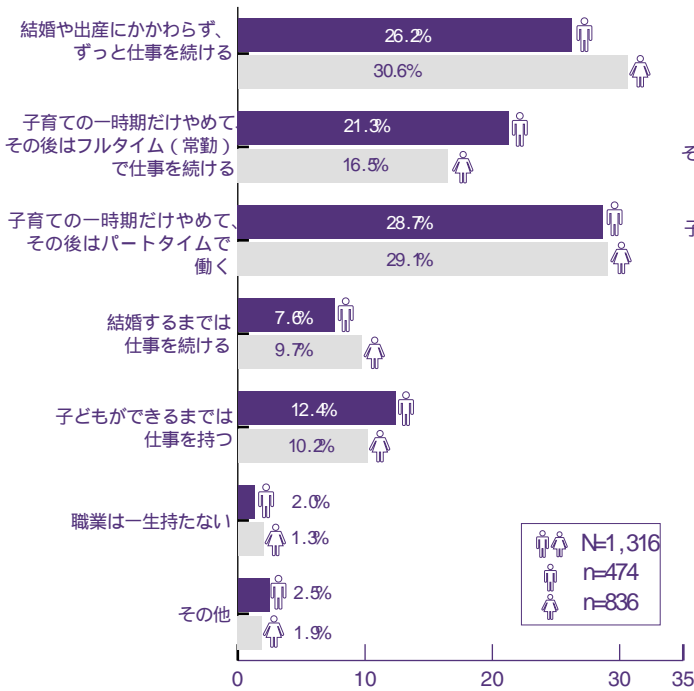
「男は仕事、女は家庭」に同感する女性は、その理由として「妻が働き出ると家庭が円満にいかなくなる」と答えた人が多く、女性自身が苦しんでいることが伺えます。女性では「家事・育児・介護は男女が協力してやるべき」と考えている人が多くなっているのに対して、男性では「経済的自立のために、男女とも仕事を持つ方がよい」「妻も個性と能力を生かしながら社会参加ができる」と考えていて、意識の差が表れています。

2 結果と分析

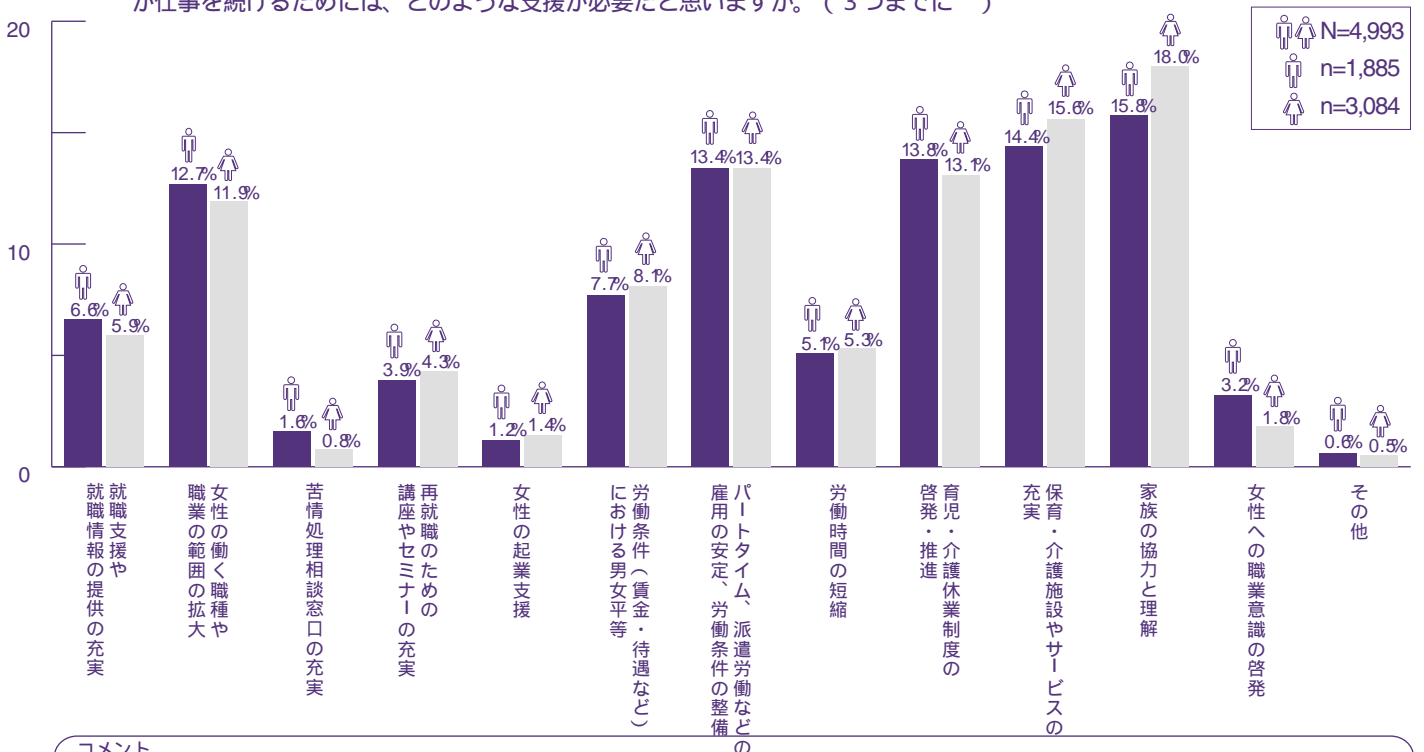
「女性の働き方」について

「女性の働き方について伺います。未婚の方は結婚したと仮定してお答えください。(1つに) あなた自身の働き方は、次のうちどれですか。(男性の方は配偶者の方について)

「女性の働き方について伺います。未婚の方は結婚したと仮定してお答えください。(1つに) 一般的に望ましい働き方は次のどれですか。



結婚や出産、子育てなどがもとで仕事を続けたくても続けられないという状況がまだ多くあるといわれています。女性が仕事を続けるためには、どのような支援が必要だと思いますか。(3つまでに)



コメント

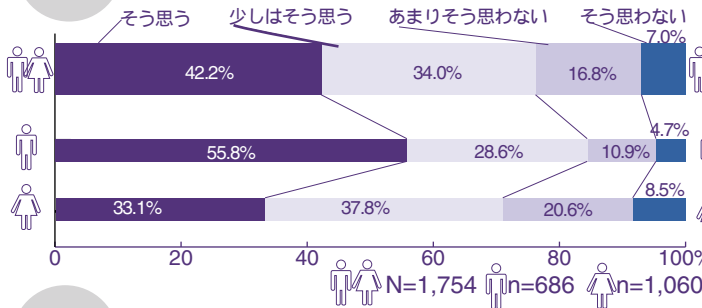
子育て後、フルタイムで働くことを望んでいる女性が多く、「雇用の安定」、「労働条件の整備」、「保育・介護に関する制度やサービスの拡充」とともに、「家族の協力と理解」といったことが、女性が働き続けることへの不可欠な条件であるようです。

2 結果と分析

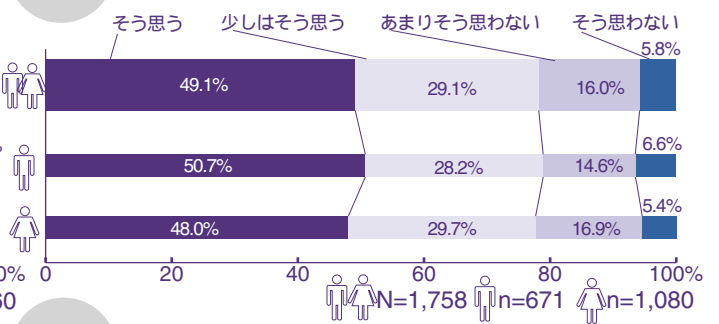
家庭のことについて

子育てについて、次の考えをどう思いますか。

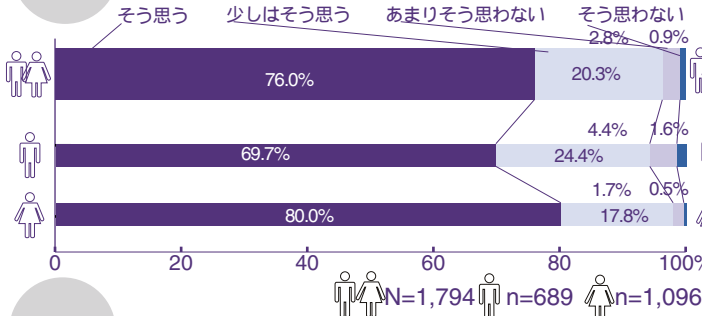
女の子は女らしく、男の子は男らしくしつけるべき



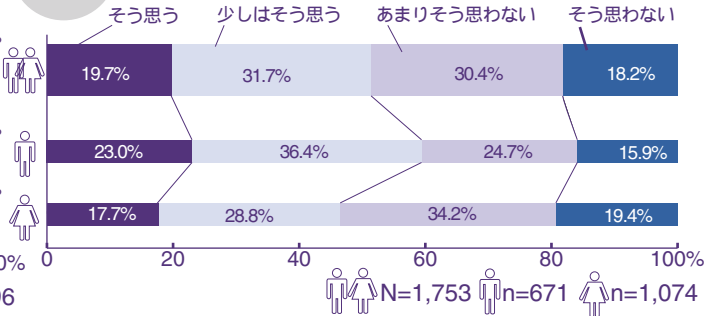
子どもは3歳くらいになるまで母親は子育てに専念すべき



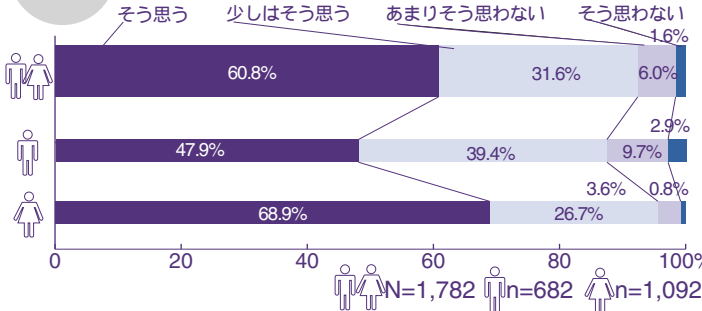
女の子も経済的に自立できるように育てるべき



子育ては母親が父親よりも主にすべき



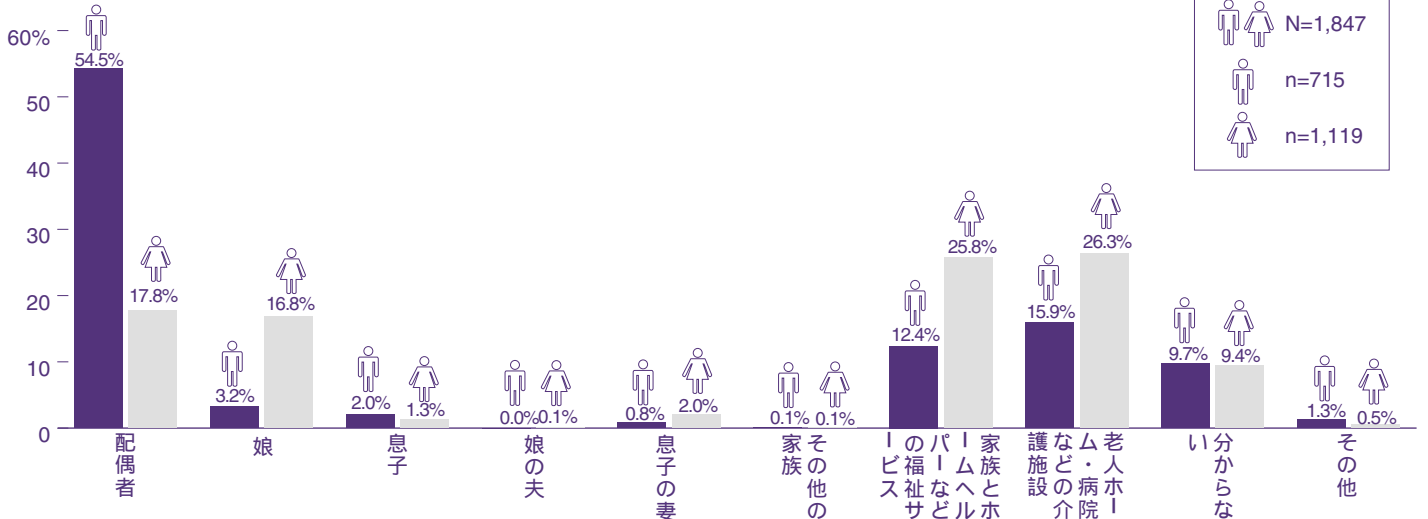
男の子も家事・育児ができるよう育てるべき



コメント

「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方が半数以上を占めています。一方で「女の子も経済的に自立できるように育てるべき」「男の子も家事・育児ができるよう育てるべき」と過半数の人が考えていますが、子育ては母親が専念すべきであり、中でも3歳までの子育てを母親が担うべきであるという、いわゆる3歳児神話に関しては、約8割の人が、そう考えていることが分かります。

あなたが介護を受けなければならなくなったとき、だれに介護を頼みたいですか。

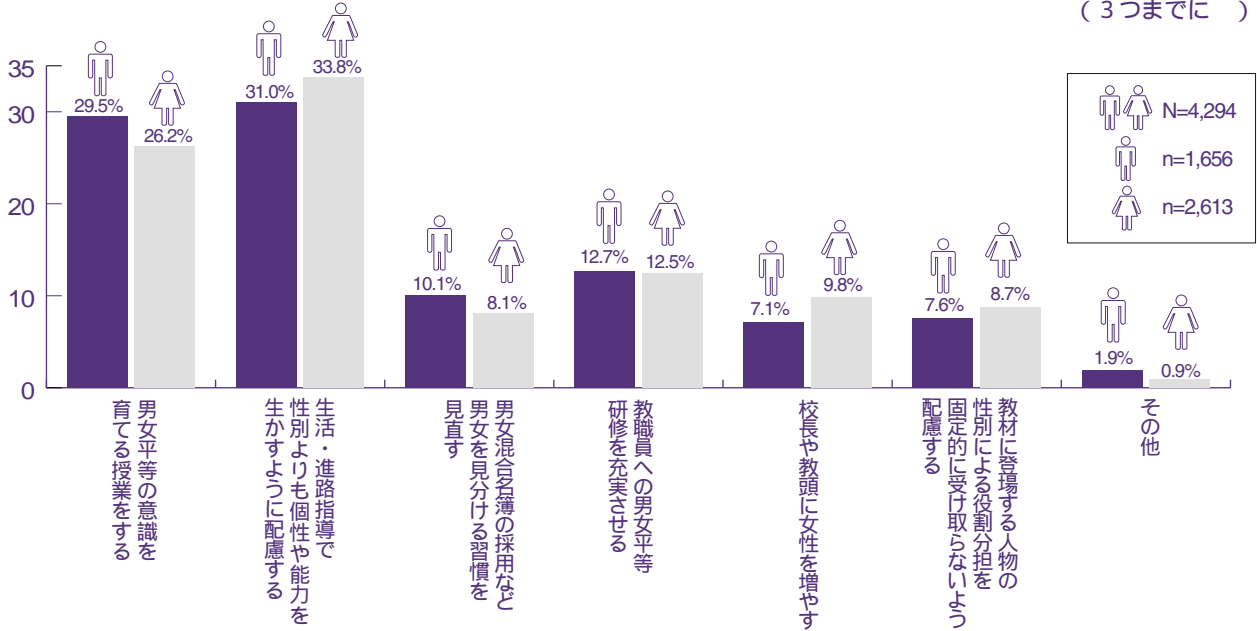


2 結果と分析

学校教育について

これからの社会で男女平等の人間関係を作っていくために、学校ではどんなことに力を入れたいと思いますか。

(3つまでに)

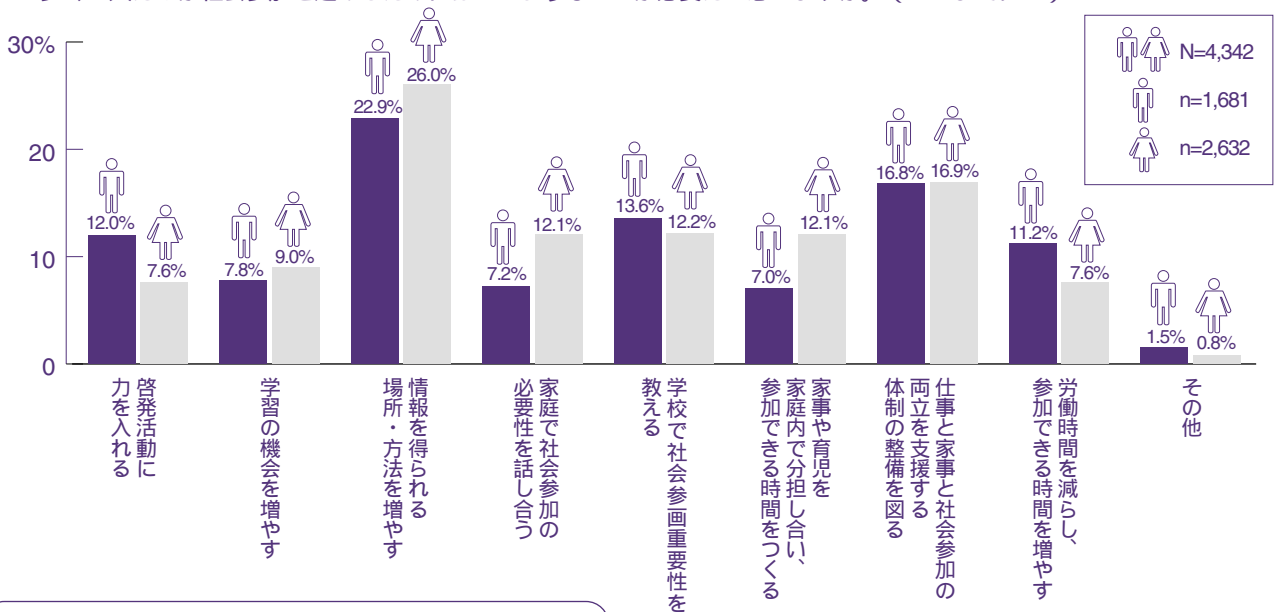


コメント

学校教育においては、「男女平等意識を育てる授業」や「性別よりも個性や能力や個性を生かす指導」の推進を希望するとともに、「教職員への男女平等研修の必要性」を多くの人が望んでいることがうかがえます。

地域活動への参加について

多くの人たちが社会参加を進めるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに)



コメント

仕事や家事と社会参加の両立を支援する体制の整備が望まれます。

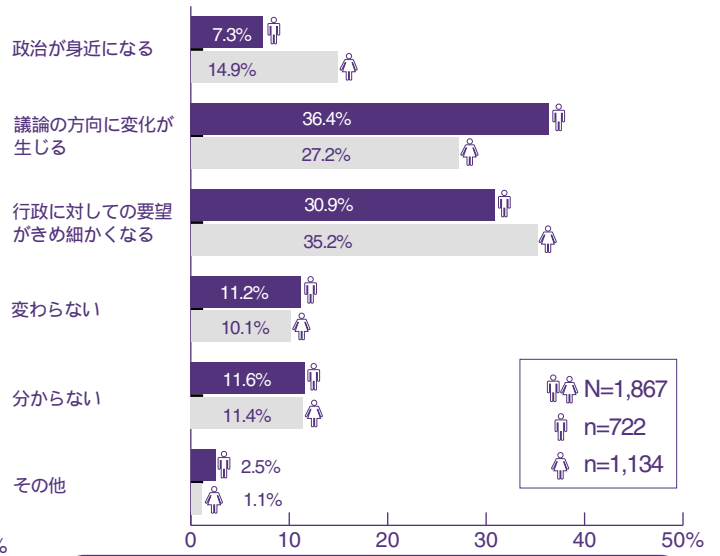
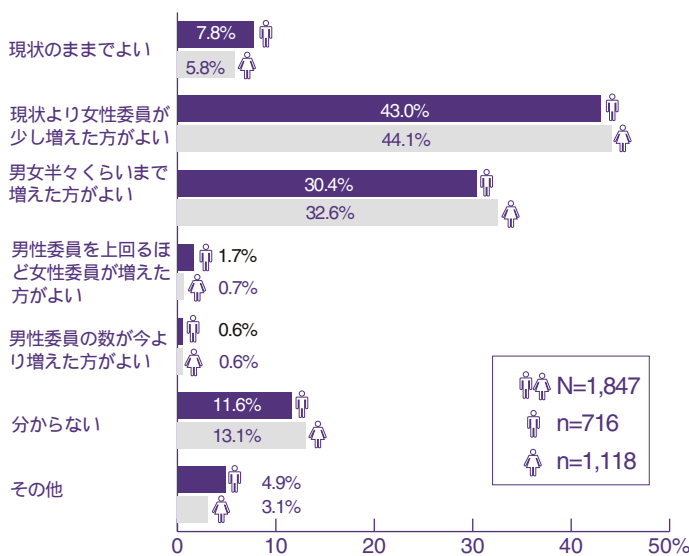
2 結果と分析

政策決定過程への参画について

議会や審議会など、政策や方針を決定する過程への女性参加が少しずつ増えています。八戸市の場合、市議会議員の中で女性議員の数は40人中1人(2.5%)、審議会等での女性の数は842人中233人(27.7%)となっています。(平成14年10月1日現在)

あなたは政策・方針決定の場(国・都道府県・市町村議会や審議会等)に女性が増えるとどうなると思いますか。(一つに)

この状況をあなたはどう思いますか。(一つに)

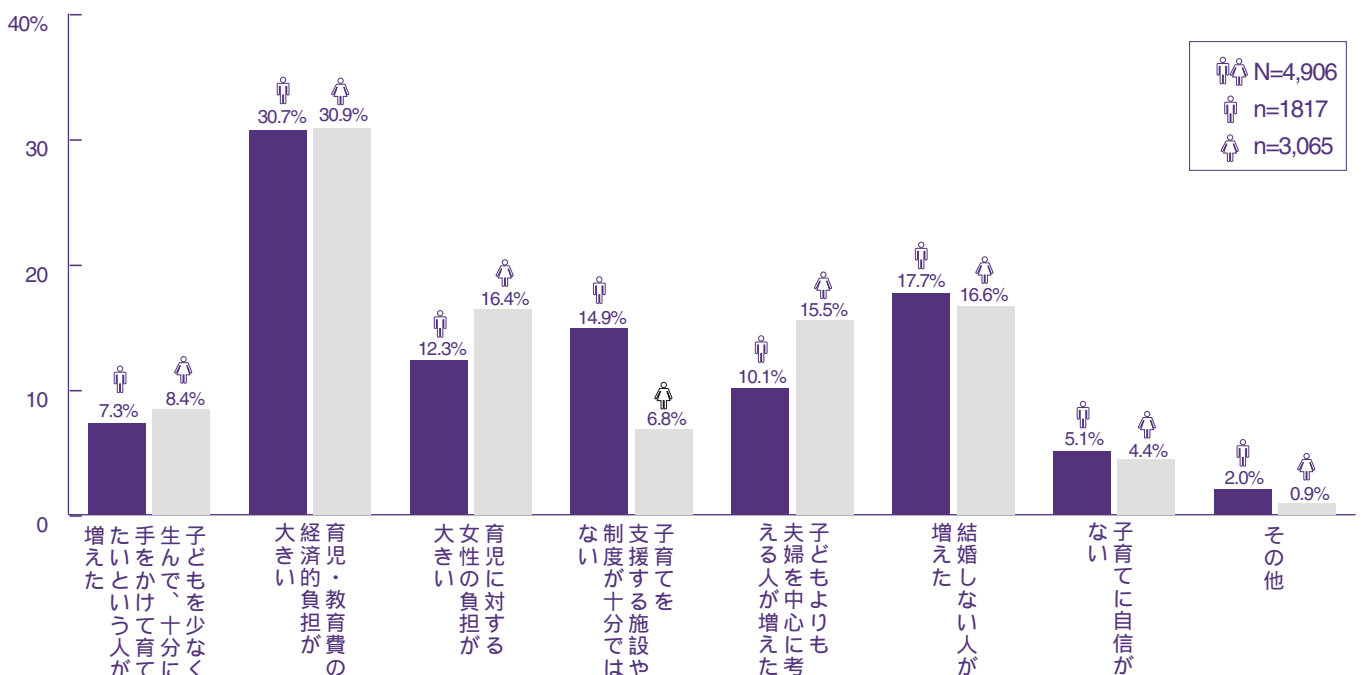


コメント

8割近くの人たちが、議会や審議会等、政策決定の場に現状以上の女性委員の参加を望んでいることがうかがえます。

少子化について

最近、出生率が低下し、少子化が進んでいますが、どうしてだと思いますか(3つに)



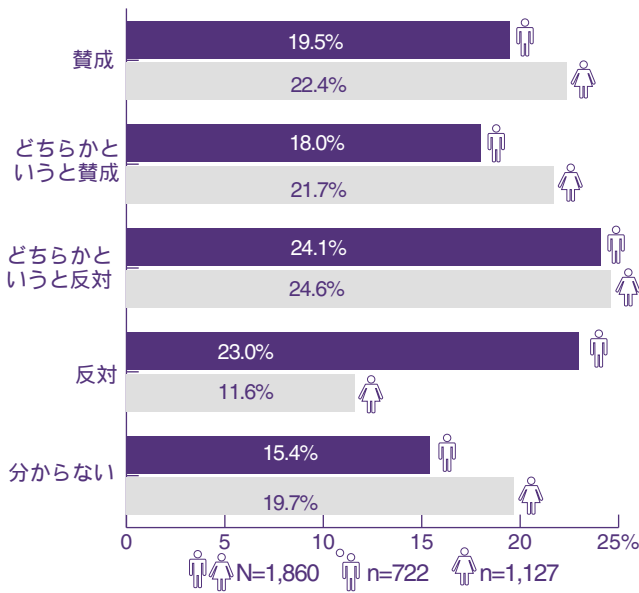
コメント

少子化の理由として、教育費などの経済的負担が大きいことと、子育てを支援する施設や制度の不備があげられています。

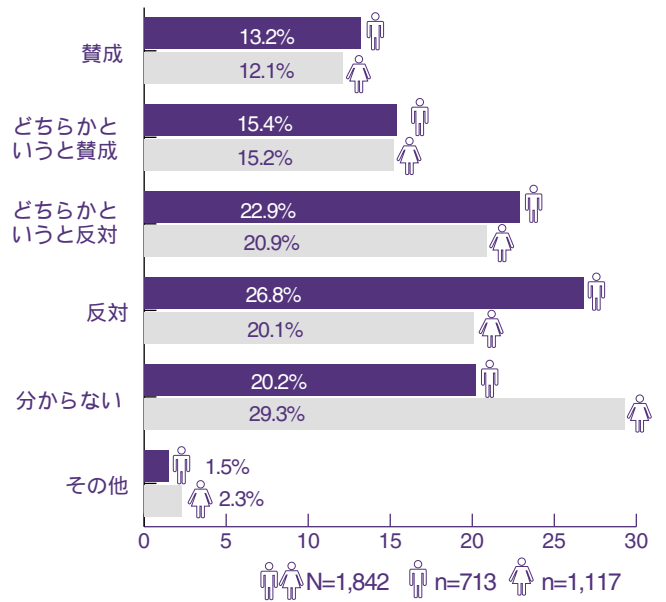
2 結果と分析

国の制度改正について

当人たちが希望する場合には夫婦がそれぞれの姓を名乗ることができる選択性別姓を認める動きがありますが、あなたはどのように思いますか。( 1つに )

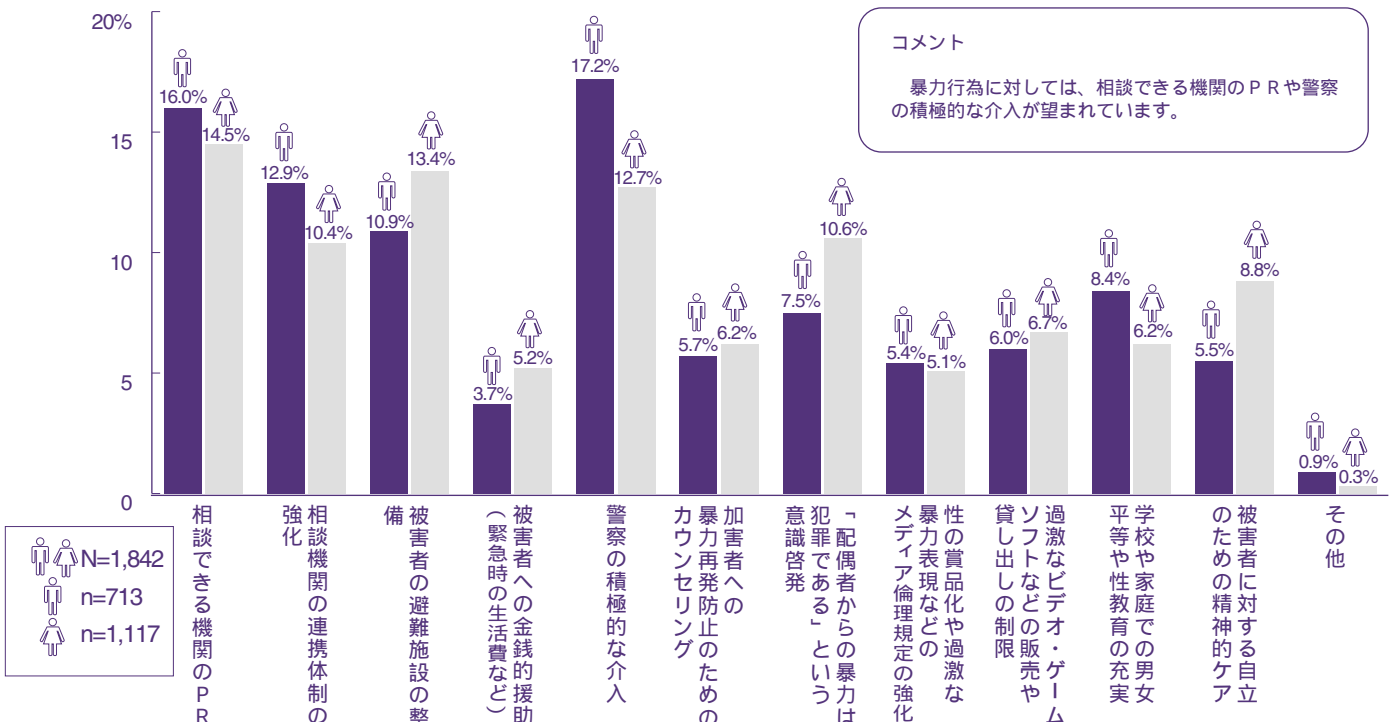


専業主婦がいる世帯には所得税や国民年金保険料などに一定の優遇制度があります。これらの制度は「男性を職場に、女性を家庭へ」という性別役割分担を助長し、専業主婦が外で働くことを控えさせる要因となる、または働いている人との公平さに欠けるとして廃止すべきとの意見がありますが、あなたはどのように思いますか。( 1つに )



異性に対する暴力等について

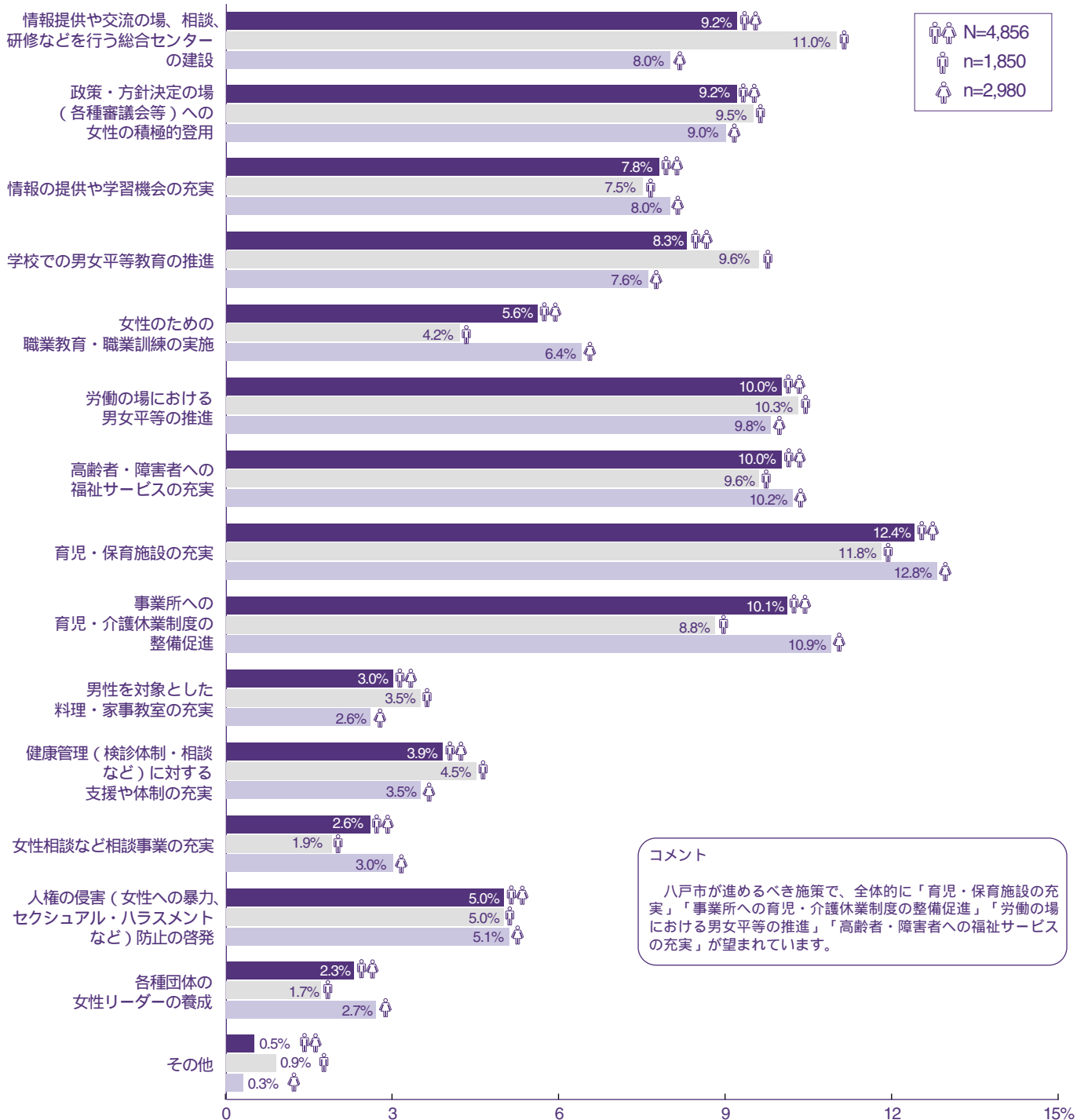
夫婦間暴力(ドメスティック・バイオレンス)、性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント)、性的犯罪などへの対策としてどのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに)



2 結果と分析

市が進めるべき施策について

あなたは、男女共同参画社会を築くために、八戸市が今後していくことは何だと思えますか。(3に )



平成 14年度 八戸市民の男女共同参画に関する意識調査 結果報告書 概要版

発行 平成 15年 5月

青森県八戸市 市民生活部 市民連携課 男女共同参画グループ

〒 031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号

☎ 0178-43-2111 内線628・629